

## 会議録

会 議 名	第4回 八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会	
日 時	平成28年2月10日（水） 午後7時 ～ 8時10分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 805会議室	
出席者氏名	参加者	石川敏之、大島紀代、栗本正男、嵯峨洋輔、高橋新也、中庭光彦
	事務局	伊藤紀彦（都市戦略部長）、立川寛之（都市戦略課長）、今井明（都市戦略課主査）、実森将人（都市戦略課主任）、金子正明（都市戦略課主事）
	その他市出席者	木内基容子（総合経営部長）、大野哲宏（市民活動推進部長）、大西健二（産業振興部長）、小澤篤子（子ども家庭部長）
欠席者氏名	芦川正明、伊藤史子、落合隆、前田伸也	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について</li> <li>3. 総合戦略の評価について</li> <li>4. 懇談会の今後の進め方について</li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉 会</li> </ol>	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	資料1 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について 資料2 地域再生戦略交付金事業の申請について 資料3 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート（案） 資料4 平成27年度事務事業評価報告書（抜粋）	
会議の内容	別紙のとおり	

## 1. 開会

《懇談会の運営について》

【事務局】

- ・座長の落合氏が、本日は急ぎょ欠席となった。そこで、中庭氏に本日の座長をお願いしたいと考えるが、いかがか。
- （異議なし）
- ・では、そのように決定する。

## 2. 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について

《説明》

【事務局】

（配付資料1及び2についての説明）

《質疑》

【栗本氏】

- ・先行型事業として実施した介護人材確保・定着支援について、他業種へ就職した人は、なぜ介護の職を選ばなかったのか。

（事務局から説明）

- ・今回の事業では、実際に介護の職を経験しながらOJTを行っていく。その中で、自らの職業としては他業種の方が良いと判断したのではないか。

【大島氏】

- ・今回、沿道集落地区地域再生計画を策定する小津地区には、地域で収穫した植物からアロマオイルを精製している女性がいる。今回、地域再生計画策定に向けた地域住民との話し合いの中で、そのような人材についての話があったか。

（事務局から説明）

- ・実際に現場に入っている事業所管では無いので詳細を把握していないが、貴重な情報であるので、所管へ伝える。

【石川氏】

- ・子育てひろばについて、今後はどのように展開するのか。
- ・レンタルベビーカーについて、月に20件くらいはインフォメーションセンターで貸し出しの実績があるが、まだ認知度が高くないと思う。もう少し踏み込んだ対応が必要なのではないか。

【子ども家庭部長】

- ・子育てひろばについては、ベビーカーで移動できる距離を踏まえ、各地域で700m範囲ごとに設置していくことを考えている。ただし、市民等によるサークル活動が活発に行われているところなどには、700mの中に複数あっても良いと考えている。
- ・事業者が施設の中で利用できるベビーカーを設置しているところもある。事業者に協力をいただき、取り組みを広げられないかと考えている。

【大島氏】

- ・現在設置されているベビーカーは3歳まで利用可能なものであるが、窮屈そうに利用している大柄な子どももいる一方で、新生児も利用している。いくつか種類があると良いのでは。

【高橋氏】

- ・先月セレオへ行った際、貸し出しベビーカーを利用して便利さを実感した。利便性を考えると駅の改札を出てすぐに借りることが出来ると良いと思う。

【中庭座長】

- ・ベビーカーの貸し出し率はどの程度か。

【子ども家庭部長】

- ・町田市で同様の取り組みを行った際には、あまり利用されず廃止になってしまっている。率として把握はしていないが、本市ではかなり利用されていると感じている。
- ・設置場所については、制限もあるが、工夫していきたい。

【嵯峨氏】

- ・地方創生について、国からは実績がどうだったのかということが問われる。先行型の事業についても、KPIを設定していると思うので、達成率をもとに今後どうしていくのかを見ていきたい。
- ・先行型で実施している事業について、来年度以降の事業継続予定はあるか。

【子ども家庭部長】

- ・ベビーカーを、市が単純に増設するという予定はない。ただし、南大沢など、他の地域に広げる必要はあると考えているので、事業者と一緒に考えた取り組みを考えていきたい。

(事務局から説明)

- ・観光資源の創生については、今回実施した事業そのものは単年度のものであるが、滝山を観光資源としていく取り組みは今後も継続する。

【産業振興部長】

- ・滝山では、地域のネットワークを構築する。来年度以降はネットワークを活かし、エリアを一体とした観光振興、観光資源を結ぶストーリーを地元から見せていく。

【嵯峨氏】

- ・交付金という財源が無くなったとしても、無いなりのやり方で、地域と一緒に今回の事業で作ったものを継続してほしい。

【中庭座長】

- ・他の自治体がやっていることを見ながら事業を行っていく必要がある。今年度、先行型事業で滝山城跡のARアプリを制作したが、同様の事例として多摩市では、昨年アニメ「耳をすませば」のARアプリを制作した。現在どのようになっているか詳細に把握していないが、地域と一緒に継続して行ってほしい。
- ・四国に、土佐山アカデミーという団体がある。この団体では、空いている施設を借り受けた移住希望者の支援や、獣害への対応に「猪鹿庁」という組織を立ち上げて住民と一緒に取り組むなど、地域の資源を商品とする活動を行っている。このような取り組みを参考にしながら続けて行ってほしい。

【石川氏】

- ・観光資源の創生の中で八王子産材の活用事業を実施したとのことだが、木質ペレットなどのエネルギーとしての活用に向けた展開は考えているか。
- ・また、事業の中で実施する木育イベントは、どのように実施するのか。

【子ども家庭部長】

- ・今回の事業で製作した9,000ピースの積み木を使い、3月に木育フェスティバルを実施する。イベント終了後は、積み木は子育てで広場で活用する。

(事務局から説明)

- ・バイオマス事業については、市内の公園から発生する剪定枝を、北野清掃工場の足湯でボイラーの燃料とする取り組みを実施している。今後の具体的な事業化が見える段階には無いが、過去には環境部において導入に向けた調査を行っており、市としてそのような取り組みを視野には入れている。

### 3. 総合戦略の評価について

《説明》

【事務局】

(配付資料3及び4についての説明)

《質疑》

【中庭座長】

- ・施策の評価を、本懇談会が行うことになるのか。

(事務局から説明)

- ・本会はあくまで懇談会であるので、会として何かを決める場では無い。次回は、今回お配りした表に実績値を入れた上でお示しし、各参加者から意見をいただく予定。いただいた意見を事業所管に伝えるとともに、それを踏まえながら市として評価を行う。

【高橋氏】

- ・評価対象事業の詳細を知りたいときには、事務事業評価報告書を参照することで理解できるのか。

(事務局から説明)

- ・総合戦略で掲げたKPIにつながる事業は、必ずしも単一のものでは無い。個々の事業については事務事業評価報告書を見ていただき、その積み上げがKPIになる、という仕組みになる。

【中庭座長】

- ・KPIと事業の関連性はどのように見れば良いのか。

(事務局から説明)

- ・各事業所管において、KPIにつながる事業をイメージして指標を設定している。懇談会では、KPIに対応した事業を見せられるようにする。

【嵯峨氏】

- ・総合戦略では、5年後の平成31年度を数値目標の時点としている。来年度は、目標数値を5分割して、それが達成されているかどうかを評価するのか。目標が数値の積み上げであるものはそれでも良いかもしれないが、年々変動するものについてはどのように評価するのか。

(事務局から説明)

- ・最終的に31年度でKPIを達成することが一番の目標。ただ、途中経過は見ていく必要がある。途中の段階で結果が出ていなくても、それが納得のできる理由で説明できるのであれば良いと考えている。

【栗本氏】

- ・取り組みに対する数値目標を分かりやすくしてほしい。どのように評価するのかイメージしづらい。

(事務局から説明)

- ・今回は、様式に内容を入れず空欄でお示ししているので分かりづらくなっていると思う。次回は中身が入ったものをお見せするので、イメージしやすくなると思う。

【総合経営部長】

- ・数々の指標がある中で、評価の方法は一つでは無い。
- ・例えば、KPIの一つである「妊娠届出時の面接率」は31年度の目標を13.2%としているが、28年度予算の中で妊娠届を出した妊婦には100%保健師が面接し相談に 응じる事業を開始する。
- ・また、保育所や児童館の待機児童数について、市は目標値であるゼロの実現に向けて取り組んでおり、今後も定員を増やしていく。仮に、就労を希望する母親が増えたため待機児童が発生したから評価出来ないということにはならないと思う。
- ・懇談会では、そのようなことを見ていただき、意見をもらいたい。

【中庭座長】

- ・懇談会の役割は、市民としての意見を出すことにある。市には、どのような事業を実施しているのかが分かる資料を示してもらいたい。

【市民活動推進部長】

- ・事務事業評価報告書を見ることで事業の内容が分かるので、イメージしてもらえと思う。

(事務局から説明)

- ・事務事業評価報告書で評価対象とする事業の数は膨大であり、全てを入れるとボリュームが大きくなりすぎ、調べたい事業を探しにくくなる。指標から事業が見えやすくなるように工夫したい。

【高橋氏】

- ・前年度実施した事業の結果はいつごろ出せるのか。

(事務局から説明)

- ・決算資料がそろってくるのが8月位になる。懇談会は9月頃に開催したい。

【嵯峨氏】

- ・数値目標については、年次だけでは無く中間値も見ていく必要があると思う。

(事務局から説明)

- ・実績値が出てくるタイミングもあり、難しいところ。年次でないと難しいと思う。より良い方法は探していきたい。

【石川氏】

- ・次回開催までの間に、取り組み状況についての報告は予定しているのか。

(事務局から説明)

- ・国は、地方創生に向けて色々な交付金を創設する。市としてそれらの支援は活用していく考えているので、そのようなものについては主だったものを報告する。

【中庭座長】

- ・口頭でも構わないので、主な事業については報告してほしい。

(事務局から説明)

- ・総合戦略では、従前から経常的に取り組んでいる事業も含まれている。それらについては改めて報告することは不要だと考えているが、新たに取り組む事業については報告する。

【都市戦略部長】

- ・ここでの取り組みは、八王子の独自性を出していくものだと思っている。そういった情報は発信していく。

【中庭座長】

- ・他に意見はあるか。  
(意見なし)
- ・では、評価手法についてはこの場で合意が得られたこととする。

#### 4. 懇談会の今後の進め方について

《説明》

【事務局】

- ・次回については、8月頃に今年度事業の実績値が出てくるので、9月頃に開催したい。日程等については改めて調整する。

#### 5. 閉会